

夢かなってク 通信

～ かなテク西部に入校し、自分の夢をかなえた方のメッセージです ～

“働く自信”を取り戻して、再就職へ

ビルメンテナンスコース N・Sさん（40歳代 男性）

失業と病気療養の後、約2年間の自宅療養を経て、ふと手にした「かなテク西部」のパンフレットをきっかけに、入校した。

「かなテク西部」では、「熱心な指導員」、「国家資格取得」、「良きクラスメート」という追い風を受け、“働く自信”を取り戻すことができ、目標の再就職を達成することができた。

<はじめに>

失業と病気療養の後、職業訓練校である「かなテク西部」（以下西部校）に入校。6ヶ月間の職業訓練を経て、再就職することができた。この間、ご指導頂いた指導員の方々、共に学んだクラスメートと、支えてくれた家族に感謝したい。

ここに個人的な体験を述べるが、西部校への入学を検討中の諸氏にとって背中の後押しとなれば、幸いに思う。

1. 入校するまでのこと

長時間労働と職場人間関係のストレスから発病し、病気休職となった。療養したが軽快せず、失意の退職に至った。その後約2年間の自宅療養を経て、徐々に回復した。

再就職を考えはじめた頃、近所の公民館で偶然「かなテクカレッジ募集案内」の案内チラシが目にとまった。西部校のオープンキャンパスに出向き、最も好印象だった「ビルメンテナンスコース」に入校を申し込んだ。入校選考試験は、3年分の過去問題で準備した。晴れて合格し、久しぶりの学生生活が始まった。

前職を退職時に資格停止手続きを行った「雇用保険受給資格」を、ハローワークで回復し、経済的援助を得ながら職業訓練を受けることができた。おかげで訓練に集中することができたと感じている。退職者には、支援制度を積極的に利用することを勧めたい。

2. 西部校の生活

職業訓練校の重要な目標は、「在校生を職業人として世に送る」ことだと思う。西部校の授業や実習カリキュラムは、この目標に沿って計画・実施され、複数の指導員による手厚い就職支援を得ることができた。

以下、西部校に入校して良かった点を三つ挙げる。

①手厚い就職指導を通して、自己を見直す機会を得た

訓練期間を通して、指導員と就職について話し合いを持ち、履歴書の添削指導を受けた。支援的な雰囲気の中で、面談と履歴書添削を繰り返すことで、自己の経歴を振り返り、自分の特徴を客観視する

ことができた。教室に続々と掲示される求人票を眺め、卒業生の近況情報を指導員から聞かされるうちに、仮に**再就職を達成できた場合の将来像を描く**ようになった。また、会社訪問や合同就職説明会、卒業した先輩方との座談会も、**再就職後の生活を具体的にイメージする**良い機会だった。

② 国家資格の取得が自信になる

西部校ビルメンテナンスコースの技術校生には、電気工事士、ボイラー技士、危険物取扱者など、国家資格取得の目標が課せられる。これまで畑違いの経歴を歩んできた私でも、訓練を通して上記のうち幾つかの資格を在学中に取得することができた。**長い休職歴を持つことから、再就職について漠然とした不安を抱いていた。**そんな私にとって、**国家資格の取得は自信となり、自己肯定感がアップした。**おかげで、“**働く自信**”を取り戻し、**前向きな気持ちで就職活動**に取り組むことができた。

③ クラスメイトとの交流

職歴や世代の異なる（20代～60代）、20人のクラスメイトと日々の交流を通して、休職中に錆付いていた**コミュニケーション能力が随分回復した**と思う。資格試験の勉強をしんどく感じる時もあったが、**互いに励まし助け合いながら乗り切ることができた。**就職活動も、**仲間と共に挑戦することは心強かった。**なお、クラスのほぼ全員が、訓練期間中に就職先を決めることができ、指導員と共に皆で喜びを分かち合った。

3. 今後～再就職後～の目標

個人的には働き方を改革し、再び長時間労働の落とし穴に陥ることのないよう気をつけたい。心に多少の余裕を持ちながら、笑顔で仕事を続けることができれば、こんなに嬉しいことはない。西部校で得た知識と経験、指導員やクラスメートとの縁を、これから大切にしていきたい。

<要約> (一番言いたいこと)

- ・ 西部校ビルメンテナンスコースで、「熱心な指導員」、「国家資格取得」、「良きクラスメート」という追い風を受け、目標の再就職を達成することができた。
- ・ 職業訓練校には多様な経歴を持った技術校生が集まる。手厚い就職指導により、就職率は非常に高い。
- ・ 西部校に関心を持った諸氏には、オープンキャンパスや体験入校に参加することを強くお勧めする。